

市民のエネルギーチェンジ研究会 第4回 in 遠軽

日時

11月16日(土)
14:00~17:00

場所

遠軽町福祉センター
紋別郡遠軽町岩見通南 2 丁目 2
電話 0158-42-4135
JR「遠軽駅」より徒歩約 10 分

参加
方法

定員 50 名 事前参加申込要 (11/13 必切)
参加費無料 (資料コピー代をいただく場合があります)
きたネットへ電話、FAX、
E-mail 等でご連絡ください。

変えよう、つくろう、楽しもう！！
市民のエネルギーチェンジ作戦会議

自分がつかっているエネルギーを、再生可能エネルギーに「エネチェン」していくことに興味がある市民、がんばってる企業の方、研究をしている方、熱い思いの行政の方、だれでも、組織を背負わずに参加できて、自分の実践を発表したり、知恵を出し合ったり、いろんなことにトライしていく場をつくろう！

市民は、地域でがんばっている企業のことでも知りたいし応援したいし、研究している方の成果も知りたいし、行政の動きも聞いてみたい。そして私たちひとりひとりが、協力できることや、自分の暮らしにとりいれられることを増やしていきたい。もっと身近で「エネルギーチェンジ」を進めるために応援しあえる場をつくろう！



プログラム1 ドキュメンタリー映画上映会

「シェーナウの想い」～自然エネルギー社会を子どもたちに～

人口 2500 人の小さな町シェーナウ市の市民グループは、チェルノブイリ事故をきっかけに、「自然エネルギー社会を子どもたちに」との想いから、市民による電力供給会社を誕生させました。活動は、ひとりのお母さんによってはじまり、世界に勇気と希望を届ける小さくて大きな実例となりました。映画を見て、私たちはどんな社会で暮らしたたいのか、どんな世界を未来に届けたいのか、地域で何ができるか考えたいと思います。

プログラム2 フリーディスカッション

「この町で、私たちができること」

座長 秋山孝二 (きたネット理事長 北海道エネルギーチェンジ100プロジェクト呼びかけ人)

事例紹介「遠軽町・自然エネルギーの取組み」 渡邊 亮司 氏 (遠軽町総務部企画課エネルギー担当)

提案「オホーツク地域でエネルギーの地産地消を」 松田 正弘 氏 (オホーツク自然エネルギー・プラットフォーム代表)

3.11 の原発事故から日本においても確実にエネルギーに対する意識が変わってきています。中央集権的な大規模電力会社から小規模地域分散型のエネルギー供給へと、全国各地で地域発電所も生まれています。オホーツク地域でも、地域主体、市民主導のコミュニティ・パワーで、エネルギーの地産地消を目指した活動をしていきませんか。この機会に、地域の将来のエネルギーのことを一緒に考えましょう。



参加申込書 FAX.011-531-0483

お名前

ご所属

連絡先 〒

Tel.

Fax.

E-mail

主催/オホーツク自然エネルギー・プラットフォーム

(略称、Ohrep オーレップ)

E-mail Ohrep1@gmail.com

Tel. 090-8228-7656 (松田)

<https://www.facebook.com/OkhotskEnergy>

共同主催・参加申込み/
認定NPO法人北海道市民環境
ネットワーク「きたネット」

〒064-0809 札幌市中央区南9条西3丁目
1-6 彩木ビル2F

Tel. 011-531-0482

Fax. 011-531-0483

E-mail office@kitanet.org

●きたネットweb <http://kitanet.org>

●北海道エネルギーチェンジ100プロジェクト

<https://www.facebook.com/enechan100>